

一般向けパスファインダー

東京都について調べる



自分が住む地域の地名の由来や過去の土地利用、人口の変化などを
知りたいと思ったことはありませんか？ 身近な土地のことでも、
知らないことは意外と多いのではないのでしょうか。

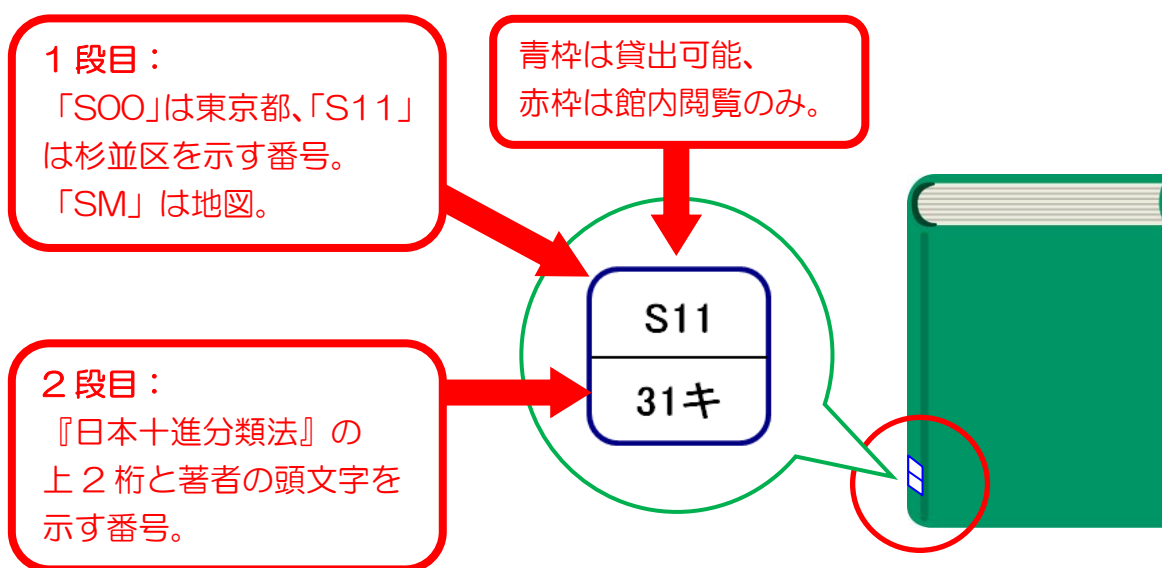
このパスファインダーでは、東京の歴史・地名や地図、統計情報を
調べる手助けとなる資料をご紹介します。

★各資料の詳細は、蔵書検索システム(OPAC)でご確認ください。
(所蔵館によって、出版年や分類番号が異なる場合があります)

① 東京のことを調べるときには、まず「杉並資料」を！

杉並区立図書館では、杉並区や東京都、都内の各自治体に関する資料（郷土資料、行政資料）を「杉並資料」として所蔵しています。

背表紙のラベルの分類番号が、「S」で始まるものが杉並資料です。



★杉並区立図書館で採用している分類やラベルのルールについて、さらに詳しく知りたいときには、図書館ホームページ（トップ>パスファインダー）の「パスファインダー 基礎編その1」のページをご覧ください。

★目的の本が見つからないときは、図書館のスタッフにお声がけください。

② 蔵書検索システム（OPAC）で調べるには

図書館の本は、蔵書検索システム（OPAC）を使って調べられます。
OPACは、図書館内の端末機か、図書館ホームページから利用できます。

<図書館内の端末機から検索するとき>

<図書館ホームページから検索するとき>

★OPAC の詳しい使いかたを知りたいときは、画面右上の「？」マークのところに
あるヘルプページ、または、図書館ホームページ（トップ>パスファインダー）の
「パスファインダー 基礎編その1」のページをご覧ください。

③ 東京の歴史や地理・地名について調べたいときは

「東京」の歴史や文化、地名の由来についての解説を読むことができる本には、たとえば次のようなものがあります。

歴史	
 『東京都の歴史 県史 13』 竹内誠[ほか]／著、山川出版社／発行、2010 年（S00.21 タ）	
江戸・八王子築城、百万都市江戸の出現、東京の成立や活躍した人物、歴史上の重要事件など、古代から現代までの東京都の歴史をまとめた通史。	
 『江戸→TOKYO なりたちの教科書』シリーズ（全 4 巻） 岡本哲志／著、淡交社／発行、2017～2019 年（S00.21 オ）	
江戸から東京へと都市が劇的に変革する大きな起点を、古地図・史料・風景写真、現代のまちを歩いて得た知見などを交えつつ紹介。	
 『みる・よむ・あるく東京の歴史』シリーズ（全 10 巻） 池享[ほか]／編集、吉川弘文館／発行、2017～2021 年（S00.21 イ）	
人びとの暮らしや社会の動きに視点を置き、東京の歴史を読み解く全 10 巻のシリーズ。3 冊の「通史編」と 7 冊の「地帯編」で編成。	
 『東京市史稿』（全 184 巻） 東京都／編集・発行、1912 年～2021 年（S00.21 ト）	
現在の 23 区を範囲とした江戸開府以前から明治末年までを対象とする編年体の史料集。令和 3 年の産業篇第 61 巻をもって刊行終了。	

地理・地名



『ビジュアルでわかる江戸・東京の地理と歴史』

鈴木理生・鈴木浩三／著、日本実業出版社、2022 年、(291.36 ス)

江戸から東京の地理と歴史の関係を全編カラーでビジュアルに描いた本。江戸時代の都市の町の構造と道のあり方、現代の東京がどのように形成されたのか、江戸時代の痕跡から大きく変遷してきた都市の動きがわかる。



『東京地理入門』

菊池俊夫／編、朝倉書店、2020 年、(291.36 キ)

東京の地理を自然地理・人文地理の両方の視点から、最新の知見とともに解説。火災や震災、戦争により壊滅的な被害を受けてきた東京がそのたびにパワーアップし、発展していく様を知ることができる 1 冊。



『東京の地理と地名がわかる事典』

浅井建爾／著、日本実業出版社／発行、2018 年 (219.36 ア)

江戸から東京へと移り変わった「東京」の形を地理や地名、地図をもとに紹介。「荒川が流れていないのになぜ荒川区？」など、知れば知るほど面白い東京の魅力が満載。



『日本歴史地名大系 13 東京都の地名』

平凡社／発行、2002 年 (S00.21 ヘ)

区や市など行政区画ごとに、自然・遺跡・交通と産業・文化などの歴史地名を収録し解説。



『角川日本地名大辞典 13 東京都』

「角川日本地名大辞典」編集委員会／編集、角川書店／発行、1978 年 (S00.21 カ)

「総説」、「地名編」、「地誌編」、「資料編」からなる。

★杉並区の歴史・地名を調べるには……

■『新修 杉並区史』 上・中・下・資料編

東京都杉並区役所／編集・発行、1982年（S11.21 ス）

杉並区が発行した区史。杉並区の始原時代から現代までの歴史や環境、文化などを解説。



■『杉並・まちの形成史』

寺下浩二／著・発行、1992年（S11.21 テ）

杉並区が江戸の近郊農村から東京の郊外住宅地へと変遷した過程が、わかりやすくまとめられている。

■『杉並風土記』 上・中・下

森泰樹／著、杉並郷土史会／発行、1977・1987・1989年（S11.21 モ）

杉並区内の旧20ヵ村ごとに、古代から現代に至る歴史や産業、神社仏閣などを豊富な写真とともに解説。

庶民の間に伝わる伝説や噂話が多数収録されているのが特徴。

■『目で見える杉並区の100年 写真が語る激動のふるさと一世紀』

郷土出版社／発行、2012年（S11.21 キ）

明治から平成までの100年間の杉並の様子を、豊富な写真で紹介。

■『文化財シリーズ19 杉並の地名』

杉並区教育委員会／編集・発行、1978年（S11.70 フ）

■『文化財シリーズ37 杉並の通称地名』

杉並区教育委員会／編集・発行、1992年（S11.70 フ）

どちらも、杉並区内の数々の地名の概要や由来を解説した本。

「19」では、現在も残る公的な地名と江戸時代の地名・絵図を、

「37」では、地元の人が用いた私的な通称地名を収録。

④ 東京の地図を見たいときは

江戸時代から現在までの、東京の様子がわかる地図をご紹介します。
杉並区が収録されているかどうかは、“下線部”をご覧ください。

江戸時代の地図・絵図・鳥瞰図（★）



『復元・江戸情報地図』

吉原健一郎[ほか]／編集・制作、朝日新聞社／発行、1994 年（S00.29 ヨ）

公的な資料を基に安政期の江戸の地図を復元し、現代の地図と重ね合わせたもの。巻末の索引が充実しており、人名や寺院・神祇、地名、さらに現代のランドマークから、目的のページを探せる。収録されているのは江戸朱引全域と千住で、杉並区は含まれていない。



『大江戸今昔マップ 東京を、江戸の古地図で歩く 新版』

かみゆ歴史編集部／著、KADOKAWA／発行、2014 年（S00.21 カ）

江戸時代の庶民の観光ガイドであった尾張屋版の切絵図の上に、現在の道路や路線、施設を記載した地図を重ね、比較しながら散歩できる地図。
ただし、杉並区は含まれていない。



『大江戸鳥瞰図』

立川博章／画、朝日新聞出版／発行、2013 年（S00.21 タ）

江戸時代の東京と神奈川を中心部の鳥瞰図集。入念な時代考証を基にした図に、当時の地名・現代のランドマークが加えられ、当時と現代を比較できる。杉並区の善福寺池周辺や青梅街道周辺なども収録。

★江戸時代の杉並区の絵図としては、杉並周辺の近世の村絵図を中心に集成された、『杉並近世絵図 杉並資料集録』（SM.11E）を所蔵。

明治・大正・昭和・平成時代の地図



『明治前期測量 2 万分 1 フランス式彩色地図』

第一軍管地方二万分一迅速測図原図覆刻版』

日本地図センター／発行、1996 年（SM.11M）

明治時代に陸軍参謀本部によって作製された、鮮やかな色彩の地図の復刻版。杉並区立図書館では、杉並区・世田谷区・中野区・旧田無市・武蔵野市・三鷹市・調布市の周辺地域が収録されたものを所蔵。



『明治前期・昭和前期 東京都市地図』（全 4 巻）

清水靖夫／編集、柏書房／発行、1995・1996 年（SM.00M）

地域ごとに、明治前期・昭和前期の地形図と現行地形図を比較できるように編成された地図集。杉並区は第 2 巻「東京北部」に収録。



『帝都地形図』（全 6 集＋別冊）

井口悦男／編集、之潮／発行、2005 年（RM）

大正 11 年～昭和 22 年に作られた地形図と、その地域に対応する現代の地図を収録。杉並区の地形図は第 3 集に掲載されている。東京西郊の地域は、同じ出版社が発行した『多摩地形図』（RM）に収録。



『昭和前期日本商工地図集成 第 1 期』

地図資料編纂会／編集、柏書房／発行、1987 年（R672 ち）

昭和 3～11 年ごろ作成された、都市案内図の復刻版。地理は正確とは言えないが、当時の商店の名前や業種が一覧できる。第 1 期には、杉並区も含め、東京・神奈川・千葉・埼玉の一部の都市を収録。



『コンサイス 東京都 35 区区分地図帖 戦災焼失区域表示』

日地出版／発行、1985 年（S00.21 二）

太平洋戦争における東京都の戦災消失区域・強制疎開区域が区ごとに一覧できる、コンパクトな本。終戦の翌年の昭和 21 年に発行されたものの復刻版。杉並区も収録されている。



『発掘写真で訪ねる〇〇区古地図散歩』シリーズ（刊行中）

フォト・パブリッシング／発行、2019 年～

明治・大正・昭和の発掘写真と古地図で当時の様子をわかりやすく解説。
「中野区・杉並区」も刊行。



『ゼンリン住宅地図』

ゼンリン／発行、1～5 年 1 回刊（RM）

建物名称や居住者名、番地を地図上に詳しく表示し、バス停、信号機、交差点名なども表示。杉並区の住宅地図は、昭和 44 年度分から中央図書館で所蔵（出版社はゼンリンに限らない・欠本あり）。これ以前の杉並区の地図で、建物名称や居住者名が表示されているものとしては、『杉並区中央沿線火災保険図』（SM.11S）を所蔵。ただし、主に戦後（昭和 22～35 年）の高円寺・阿佐ヶ谷・荻窪・西荻窪の一部の地域しか収録されていない。

★杉並区内の特定の地域の移り変わりを調べるには……

■『「杉並の地図をよむ 一描かれたもの 隠されたもの」展示図録』

杉並区立郷土博物館／編集・発行、2002 年（S11.29 キ）

杉並に関する貴重な地図資料がカラーで収録されているほか、明治から昭和 30 年代の地図・空中写真も収録。
近代の杉並のまちの移り変わりをたどることができる。



※ 上記でご紹介したもの以外にも、一枚ものの地図を多数所蔵しています。
杉並区全体や各町村などの昭和～令和期時代の地図が中心です。区内の特定地域・特定年代の地図を見たいときは、ぜひこちらでもご利用ください。

⑤ 東京の統計について調べたいときは

ここでは、代表的な統計書をご紹介します。必要なデータの探しかたがわからないときは、窓口にてご相談ください。

総合統計書
『東京都統計年鑑』 東京都総務局統計部調整課／編集・発行、年刊（S00.35 ト）
『特別区の統計』 特別区協議会事業部調査研究課／編集・発行、年刊（S10.35 ト）
人口
『住民基本台帳による東京都の世帯と人口（町丁別・年齢別）』 東京都総務局統計部人口統計課／編集・発行、年刊（S00.35 ソ）
福祉・保健・医療関連
『福祉・衛生統計年報』 東京都福祉保健局総務部総務課／編集・発行、年刊（S00.36 フ）
学校数・在学者数・教職員数・卒業者の進路
『学校基本統計（学校基本調査報告書）』 東京都総務局統計部人口統計課／編集・発行、年刊（S00.37 ソ）
都民の収入・支出の動向
『都民のくらしむき 東京都生計分析調査』 東京都総務局統計部社会統計課／編集・発行、年刊（S00.36 ソ）

⑥ インターネットで調べてみよう

インターネットでも、東京の昔の写真や地図、最新の統計情報などを見ることができます。ここでは、おすすめのサイトをご紹介します。

東京都立図書館 公式サイト (https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/)	「コレクション紹介」のページでは、江戸城の造営関係資料や東京の古地図などの画像を検索できる「TOKYO アーカイブ」や、絵葉書や写真に描かれた東京の姿を見ることができる「都市・東京の記憶」などのコンテンツが充実。
国土地理院 公式サイト (https://www.gsi.go.jp/)	国土交通省の国土地理院が発行しているさまざまな地図をインターネット上で閲覧できるほか、日本の主な山岳標高や、地名の読み方がわかる地名集も掲載。「キッズ」のページでは、地図記号の説明や、測量・地図作成に関係した人物の紹介などがある。
東京都の統計 (https://www.toukei.metro.tokyo.lg.jp/)	分野またはキーワードで統計を検索できる、東京都総務局統計部の統計データベース。『東京都統計年鑑』をはじめ、今回ご紹介したほとんどの統計データは、このサイトでも公開している。小・中学生向けの「キッズコーナー」では、統計について楽しく学ぶことができる。

杉並区立中央図書館
2014 年 3 月 1 日発行
2018 年 3 月 1 日改訂、2019 年 6 月 1 日訂正
2021 年 9 月 1 日改訂
2025 年 3 月 1 日改訂
(代表) 03-3391-5754
※本文および掲載画像の無断複製を禁じます。